

令和6年度 第3回湖南省立図書館図書館協議会 会議録

- 開催日時 令和7年3月6日（水） 午後7時00分～8時30分
■開催場所 湖南省立甲西図書館 2階 集会室
■出席者 図書館協議会委員 10人
事務局 5人
■傍聴人 1人

1. 開 会

[教育長あいさつ]

[会長あいさつ]

2. 報 告

- 1) 図書館協議会交流会の参加報告 について
- 2) 令和6年度湖南省立図書館事業報告について
- 3) 来年度以降の湖南省立図書館について

議長	それでは報告事項の1番目。 図書館協議会交流会の参加報告について、事務局からよろしくお願いします。
事務局	令和6年の12月14日土曜日に滋賀県立図書館で県内の図書館協議会の委員が集まる図書館協議会交流会に出席しました。 前半は守山市在住の絵本作家の今関信子氏の講演会があり、後半は各グループに分かれて情報交換をしました。 講演会では、今関氏が関西に引っ越してきて地域の子どもたちに読み聞かせを始められたこと、滋賀県に引っ越ししてきて図書館の活動に携わるまでの経緯をお話され、図書館と司書はどうあるべきかについて述べられていました。 新しい滋賀県の図書館を作るにあたっての会議に参画し、「閲覧中心から貸出中心の図書館に。蔵書はある一定の水準の本が質量とも豊富で新鮮さがあること、利用者が読みたい本をリクエストできて、調べたいことがあればレファレンスサービスが受けられること、図書館は箱でなく人、司書が大切。」といった討議が熱心にされ、司書資格を持つ館長のいる、勉強部屋ではない図書館が滋賀に次々にできていったのはよかった。また、守山市では図書館友の会を立ち上げて活動してこられたこと、図書館を良くするのは市民だ、司書は市民の要求を

	聞いてくれる人であるべきで、市民は自分で本を選ぶ力を養っていかなければいけないと仰っていました。 出席した委員の方からも感想をお願いします。
委員	優れた司書と自立した市民の存在があって、図書館は良くなるということ学びました。司書と図書館に関心を持つ市民、この二つが重要だと思います。また、行政も市民も図書館をどれだけ愛しているか、図書館や本にあまり関心がない市民や教育関係以外の市役所関係者の方をどのように巻き込んで、図書館を大切に考えていくかが大事だと思います。 後半の交流会の方で印象に残ったのは、友の会の運営についてお聞きしましたが、長く運営されているとメンバーが固定化されてくるので、湖南省で立ち上げるには、色々な人が集まり意見を出し合えるような場にできたらと思いました。
委員	お話をお聞きして、図書館というのは子どもさんが重要だと思いました。最近の子どもさんは塾など忙しくてなかなか時間が取れないけど、隙間の時間で本を好きになってくれるように工夫が必要だと思います。子どもの笑顔を大切にしたいと思います。
委員	司書も含めて市民の方がそれぞれ本当に図書館のことを一生懸命考えて育ち合う場であって欲しいと思います。今関さんが 83 歳の年齢でそれを実行されて本当にすごいなと、目指したいなと思いました。
議長	図書館協議会の委員さんがたくさん来られるので、皆様も今後機会があれば、ぜひ参加していただければと思います。図書館のことに本当に詳しい人が多いです。 それでは報告事項の 2 番目。 令和 6 年度湖南省立図書館事業報告について、事務局からよろしくお願いします。
事務局	(資料①を基に説明)
委員	図書館が行っている事業はよく分かりましたが、職員の方が参加されている研修はどのようになっていますか。
事務局	滋賀県公共図書館協議会等が研修機会を設けて下さっています。今年度については、職員が必ず 1 人 1 回は研修を受講して持って帰るということにしており、子どもの本の選び方研修会であったり、読書バリアフリーに関する研修会といった研修会に出席しました。北欧由来の「りんごの棚」を設けたのは 1 つの成果かなと思っています。また、学校図書館と公共図書館の連携という研修も受けさせていただいて、できれば来年度から電子図書館に関して学校のタブレットを使って電子図書を読める

	ような取り組みを導入していければと思っています。町立図書館の時代は1人で2週間ぐらい東京に行って専門の研修を受けるということもありましたが、今は時間も予算も限られており難しくなっています。ただ、そうした横のつながりを作るような研修機会は大事かと思っています。
委員	私もブックスタートの方に参加している関係で、ネットでですが研修を受けさせていただきました。他の図書館の事例をたくさん紹介して頂いて真似をしたいところがたくさんありました。私たち委員もそうした研修の機会に参加すると良いのかなと思います。
事務局	委員の皆さまにも参加して頂ける研修機会があれば、また情報提供させていただきます。
議長	⑧の問い合わせ・調査・相談について、件数が相当多くてこの対応だけで職員1人分の仕事があるように思います。電話や直接来られる、また、LINEやメール含めての件数ですか。
事務局	インターネットの問い合わせ等もありますが、来館される方が大半です。本当に軽微な問い合わせも入っています。この本がどこにあるかとかから、このような内容の本があるかどうかといったものまで色々あります。相談の114件・195件というのがレファレンスと言っているもので、お時間を頂きながら色々な回答をしていくことになります。 本の並び方や表示が分かりづらいとか、こちらの気づきになるので何でも聞いてくださいというふうに来館者の方には言っています。
議長	あと除籍がなかなかしづらい部分もあると思いますが、ただ単に処分するだけでは勿体ないと思っているので、リサイクル等使えるものはしっかり使っていくという感じで、皆様の知恵をいただきたいと思っています。
事務局	基本的には、破損・汚損等で全く使えないもの以外は、リサイクルにまわしており、この3月も予定しております。児童書も今回は先行して小学校向けにリサイクルに出し、続けてまちづくりセンターや保育園、幼稚園等を対象に出しています。そういったところには有効に活用していただきたいなと思っています。
議長	蔵書数37万冊は滋賀県でもトップレベルなのでどのように活用していくか是非考えていってほしい。また視聴覚資料も除籍をしているのですか。
事務局	視聴覚資料については、傷んで使えないもの以外は除籍していません。今後は行う可能性もあります。
議長	再生する機器がない状態になってきているし、CDやDVDでも使えないくらい時代が変わってきています。
事務局	図書館で保有しなくてもいいものについては、リサイクルするなり工夫

	していかないといけないと思っています。
議長	それでは報告事項の３番目。 来年度以降の図書館の湖南市立図書館について、事務局からよろしくお願いします。
事務局	(資料②・資料③を基に説明)
議長	ありがとうございました。ここで質問を受けるというよりは、次の意見交換で要望も含めてご意見頂戴できればと思います。

３．意見交換

委員	２年間委員をさせていただいて、何か結果が出たかというのが大事だと思います。この次年度以降の計画にインプットされれば丁度いいかと思っています。 ２つ目は、図書館というのは情報発信の場だと思います。新刊本でこういう本が入ったというような営業活動をしていく必要があると思いますし、本の楽しみ方、アプローチの仕方を教えてくれることも必要だと思います。 ３つ目は、図書館が自己実現の場、才能を発揮する場だと思います。従来の図書館はインプットの場だと思いますが、これからはアウトプットの場として、学んだことを地域に生かす、地域のためになる情報の伝達の場となっていければと思います
委員	図書館というのは子どもファーストで、そこに種をまいていくべきかなと思いました。本を読むのは習慣だと思うので、図書館に行くことも１つの習慣だと思います。図書館で色々な経験ができる場になることが必要だと思いました。
委員	新聞の切り抜きで心に残ったものがありまして、大学生の女の子が書いたものですが、図書館司書になるべく勉強していて、児童や学生になぜ読書しなければいけないのかと聞かれたらどう答えるかという話でした。特別しないといけない訳でもないですし、普通は読解力を身に着けるためと答えるところを、「生きるため」と回答しました。小学校の時に息苦しい時期があり図書館で本を読んで生きていく力をもらったという経験をしたそうです。図書館ってそういうところだと思います。 実績報告の資料によると人口の１０パーセント程度利用しているが、だからといって無くして良いものではなく、図書館というのはその町にないといけないです。 子ども達が図書館に来ようと思うと、親、大人が図書館に目を向けて

	連れてこないといけない。 学校にも図書館がありますが、社会教育としての図書館との連携を強めて相互に行き来できるような場所にしていく必要があると思います。 また、20 周年記念イベントの時に普段本を読まないような家族も含めて幅広い層が来てくれました。今の時代図書館という建物と優れた司書がいるだけでなく、何かおもしろそうなことをやっているなという働きかけを皆で工夫して考えていかないといけないかなと思いました。 今後の方向性のなかで、資料には各地域で図書館に代わる機能を検討すると書いてあるので、歩いて行ける地域の中でそうした機能があり、甲西の大きい図書館がしっかり機能を果たしてくれるというイメージが浮かんでいます。
委員	2 年間の協議会の中では残念に思ったのが、小規模多機能自治の構想が出てきたときに、協議会内でもっと議論を深めれば良かったという事です。 また、貸出冊数が少ないという点について、これからどのようにして図書館が良いものであるかを自分たちも認識しながら PR していく余地がまだまだあると思うので次年度の方たちには是非とも頑張ってもらいたいと思います。
議長	石部図書館の今後も含め小規模多機能自治の件は、先に協議会に話を上げてほしかったと思います。 図書館のリニューアルについては言葉として出ているので、こういうふうな施設を作ってくれとか、より具体的な意見をお願いします。
委員	私の住んでいるところには自治会館に図書室があり、歩いて 5 分のところにあるので非常にありがたいですが、甲西図書館にしる石部図書館にしる本の森に入るイメージがありそれがいいなと思います。家ではなかなか勉強できないので自習できる場所ができてうれしいなと思いました。 岐阜の図書館では、「この本推薦です」というような推薦文を書いて掲示するというのが良いなと思いました。 司書の方からもらうもの、私たち利用者が返すものをそれぞれ積み上げていければと思います。
委員	まちづくりセンターで勤務しているが、センターに図書館の本を返却するサービスがあります。返却される本を見ていると、この人はこんなことに興味をもっているのかと色々感じながら携わっています。

	単に本を借りるというイメージがあったが、実際にここに来ると展示や情報発信、教育等色々なことをしています。意外にそうしたところが表に発信されていないのかなと思います。「図書館だより」は内容豊富で開館日以外にも新刊案内も沢山載っているが、回覧している訳でもなくセンターに来なければ見れない。発信をもう少し工夫すればいいのかなと思います。
委員	ふれあいスペースができて、お子さんのいるお母さんに進められるのですごく楽しみにしていましたが、誰もいないことが多い。活用状況はどうなっているか気になります。 ブックスタートもお手伝いさせてもらっていてその時にお母さん方に図書館に来られるか聞いてみたところ、最近は全然行っていないという声が多い。そういうときに、ふれあいスペースがありますよとアピールできたらいいなと思います。 また、学校図書館はかなり利用者が多くて休み時間に並んでいます。昔協力事業で図書館司書が学校に出向いて読み聞かせをしたりブックトークをしていたと思います。今は学校司書の方が熱心にやっているのでしていないとのことですが、図書館司書が来ていたときは学校図書館にない大きな本や紙芝居を持って来たりして子どもが楽しみにしていたのを思い出します。そうしたことも子どもが図書館に行きたくなるきっかけになるかもしれないです。
委員	図書館の利用率の低さは残念に思っています。 民間の本屋の社長さんから話を聞いたのですが、本屋も年々減ってきていて本だけではやっていけない、雑貨やお菓子といったプラスアルファを置かないと足を運んでもらえないという時代がきてしまっているということです。 また、守山市は図書館が新しくなってから民間の働きも活発化していて、色々なボランティアグループも入ってイベントをしたりしているそうです。湖南市もそうなってほしいです。 湖南市の図書館にもよく足を運びますが、とても静かなので気を遣うところはあります。少し会話をしても居心地がいいなと思えるような図書館になるといいですね。 守山市の図書館が活性化しているのは、やはりリニューアルがキーポイントだと思います。湖南市もリニューアルするにあたり、本屋と同じで本を読むプラスアルファそこに楽しいイベントがあるという要素は必要だと思います。夏休みの調べもの学習のような子どもたちが活用できるような働きかけができれば。昔は新聞づくりをした時代も

	ありましたが、今は新聞を取ることで自分が減っていて新聞を作るという説明が難しいようです。 色々な本をめくりながら調べる過程がとても大事だと思うので、それは家ではできないけど図書館では活用できるという働きかけをしていただけるようなリニューアルを期待しています。
委員	本は読んでいましたが最近図書館には来ていませんでした。本を読む意味とか本に触れていなかったという話が出ていましたが、「赤毛のアン」を久しぶりに読み返していて普段考えていることが全部載っているなあと思いました。小さい頃に10回20回と読み返していたので、それが染み込んでいたということに感動しました。知らず知らずのうちに本の中の精神というか主人公の生き方とか、自分の指針になっていたということに気づいて子どもたちにもそういう経験をしてほしくて本を勧めたいと思います。 ふれあいスペースは廊下とかドアとか少し人工的に思えるので、ドアを取っ払うのもいいかもしれません。 カフェで読書するとか先ほどの話のようにプラスアルファもあればいいなと思います。 もう一つは駐車場が止めにくいですね。子どもさんのいる親御さんにとってはそれも大きいかもしれないですね。 また、人から勧められたら読みたくなる本も多いので、推薦の文書があるとかPOP的なものがあれば。 あと調べもの学習の講座とかやると小学校の子どもたちがたくさん来るかもしれません。
議長	市の庁舎が新しくなるので、そこに図書館を入れてほしい。 この図書館の建物の場所は他に比べて低地で、2メートルの浸水が起きたら本が駄目になってしまう。甲西図書館のリニューアルでは対応できないと思うので。 近畿大学の図書館は、本図書館を残す一方で、目次になるような図書館を別に設置しています。新庁舎の中に、せめて図書館の一部機能や親しみを持ってもらえるような部分を盛り込めないかと思います。 また、図書館をリニューアルしても情報発信が弱い印象があります。湖南省L I N Eでも5,000人未満しかいないので、SNSにも力を入れてほしいです。 また、外国人の方が市内の人口の8パーセントを占めていて、様々な産業で働いています。単に働き手としてではなく仲間として迎え入れていくためにも、図書館をもっと利用してほしい。リニューアルの中

	で外国人の方に対応できる要素も入れてほしいです。 実は、大垣書店の社長と友人なんですが、本を読む人を増やしていかないといけない中で、図書館にも頑張ってもらいたいと思ってられている。リニューアルをする前に一度参考意見を聞いていただきたいと思っています。
委員	図書館協議会や図書館とは別の組織として、サポートボランティアという形で作れたらと思っています。 司書さんと時々話し合いながら進める必要があると思うし、会費が必要かどうか協議していきたいです。
議長	何かを進めるときには熱い人がいないと進まない。この図書館が大好きで、本が大好きで、という人が集まってくる、それが広がっていく、そんなふうに思っています。 リニューアルという大きな目的もありますので、同時並行で進められたらと思います。では事務局にお返しします。
事務局	ありがとうございます。 図書館友の会は文科省の方でも定義がされていて、「図書館友の会は誰からも干渉を受けずに自主的に運営するもので、行政機関や図書館が呼びかけて組織するものではない。会員の様々な職業経験知識感性を大切することが重要であり、友の会側は活動が楽しい図書館側、援助が受けられるという相互関係がなければ継続できない」とされています。 その中で様々な経験を持っている方がそれを生かして図書館で発表してもらうというのも友の会の活動の一環になるかと思っています。 実利用者が10%強という数字ですが、市民の10%しか図書館に来られていないというわけではなくて、あくまで1年間に自分のカードで1冊でも本を借りた人ということです。新聞や雑誌を見に来られた方やイベントに来られたかたはカウントされていません。できれば、来年度からは来館者数をカウントできるよう進めていきたいと考えています。

4. その他

5. 閉 会

[副会長 あいさつ]